

白山ふるさと文学賞

第八回 白山市ジュニア文芸賞 受賞作品

【島清部門】

小学生5・6年作文の部 優秀賞

夢に向かつて

明光小学校六年

山岸 やまぎし

美和 みわ

私の将来の夢はアナウンサーです。アナウンサーは、ニュースでさまざまな報道を視聴者の人に伝える仕事です。もしも、アナウンサーがいなかったら、大きな事件のことも知る事ができないし、災害がおきた時に避難場所を詳しく伝えてくれる人もいなくなってしまう。だからアナウンサーは大切な職業なのです。

アナウンサーになろうと思ったきっかけは、テレビでアナウンサーを見たときに、衝撃を受けたからです。明るいニュースのときは明るい声で、悲しいニュースや事件が起きたときは暗い声で話していて、まるで女優のように表情までもが変わっていて、まだ小さかった自分の記憶にすっかり残りました。

私は、アナウンサーになれるように、国語の教科書の物語を読んだり、みんなの前で意見を発表したりするときに、声の大きさなどを意識して話すようにしています。けれど、どうしても早口になりがちです。「早口にならないように」と考えていても長い文章を話していると、意見を言うことだけに集中してしまって、「早くならないように」という考えがぬけてしまいます。最近では、考えが頭に残るようになって、相手に伝わりやすいスピードで話せるようになってきました。

しかし、ゆっくり読むだけでは、アナウンサーの力はつきません。アナウンサーには、どんな現場でも、すばやく、ていねいに、臨機応変に対応する力も必要なのです。この力をつけるにはどうしたらいいかとかやみました。結局、今も方法は見つかっていません。けれど、毎日、家族や友達と色々な物を見ながらたくさんのお話を話しています。そうすると、話題に合わせて会話を進めていくことができるようになります。思います。これからも、臨機応変に対応する力を身につけるチャンスがたくさんあると思います。そのチャンスを逃さないようにがんばってきたいです。

以前、家族に「アナウンサーになりたい」と話したことがありました。夢と現実少しちがっていました。お母さんは応援してくれたけれど、

お父さんには

「たくさん勉強しないとイケないよ。」

と、言われました。お兄ちゃんには、

「今のアナウンサーはそれぞれ自分のキャラクターを持っているから、その人たちに負けないように自分を確定させないと厳しいと思うよ。」と、言われました。それを言われたときは少し落ちこんだけれど、それ以上にアナウンサーになって、お兄ちゃんたちに「本当に夢がかなってよかったね。」と言わせてやる、という野望が新たに生まれました。

最近では、国語の教科書を読むこと他に、さまざまなニュース番組を見て、アナウンサーがどのように、原稿を読んでいるかを見ることが始まりました。すると、今まで教科書を読んでいたときはやっていなかった、とても基本的なことに気づきました。それは、「間をあげる」と、ずっと原稿を見るのではなく、「前を向いて相手に伝える」ということです。このことに気づいたときは、「なんで今まで分からなかったんだろ」と思いました。この二つをやらないと聞く人は全て文がつかなくて、意味が分からなくなってしまう。これに気づいた時は、アナウンサーは細かい気配りが大切なんだなあと思いました。

私は、しょう来の夢が何度も変わっています。アイドルになりたいと思ったこともあったし、医者になりたいと思ったこともありました。けれど、このアナウンサーになりたいという夢は変わらないし、変えたくないと思えました。自分がこの夢をかなえるために一番がんばってきたからです。今までの夢は、なりたいたいという思いだけだったけれど、今はアナウンサーという夢に向かって、教科書を読んで情報を正しく伝える、話すときには、間を空けて話し、相手が聞きとりやすいように伝えるというのを毎日行っています。思うだけではなく、行動にうつしているのです。このことをやっていけば、努力はむくわれるのではないかなと思います。一度やめてしまうと、今までの努力が台無しになってしまうので、続けていきたいと思っています。

自分は、習字をやっているけれど、中心線を見て文字をそろえることが何回やってもできず、その日は上手にかくことができませんでした。そのことを習字の先生に相談すると、「お手本をしっかり見て書けばうまくいく。」と言われたので、実際にやってみると、文字をそろえて書くことができました。失敗したことを次につなげれば、それまで以上のことができることも分かりました。

自分は、これから、夢をかなえるために、今まで以上に教科書を読むことと、話すときは間を考えて話すことをがんばって、ニュース番組を見てアナウンサーとして大切なことを学んで、これからのことにつなげていきたいです。それに、失敗しても、くやしがらず、失敗したことを次に生かしていきたいです。

「夢はかなう」という考えを忘れずに過ごしていきたいし、アナウンサーになっている未来に向かってがんばっていきたいです。

